

審査において
こんな質問がされました

◎ 職員の3市広域研修計画の研修回数、内容、成果は。

① 20種の研修を24回実施、延べ157人が受講。

職位に応じた研修とし、新規採用職員対象の半年間を振り返る研修、管理職では人事評価研修や時局対応特別研修等を行っている。3市職員の相互交流に職員同士の学び合い、業務における情報共有や相談ができる関係性が生まれ、職員のレベルアップ



3市（御前崎市・牧之原市・菊川市）広域研修

が図られている。研修の成果を測ることは難しく、人事評価制度等で職員の仕事ぶりを評価、判断されるべきものである。

◎ 市民税に3242万円の
不納欠損額があるが、平成26年から30年までの不納欠損処理額とその要因は。

① 不納欠損処理額は、平成26年4410万円、27年5023万円、28年2805万円、29年2658万円、30年3242万円である。静岡県徴収対策本部会議において、積極的に執行停止、不納欠損を実施するよう統一見解が出た。また、昨年からの見解が税務課に県の徴収専門監が配属され、取れないものは積極的に落とすことも必要と考え、担税力の無い人、財産がない人については、早期に執行停止の判断をし、不納欠損していくこととした。今後も税負担の公平性を担保していく。

◎ マイナンバーカード出張申請サービスの詳細は。

① 菊川病院、けやき、高齢者サロンに出向き、出張で申請補助を行ない、55名の申請があった。今後も出張サービスを実施し、交付率を上げて行く。今年度は市内企業2社を訪問し、185名の方から申請をいただいた。

◎ 子ども・子育て支援制度事業の課題に、「事業実施の規定を満たす保育士の確保」とあるが、その対策は。

① 平成27年度から保育教諭等登録制度を設け、市が有資格者等の登録を行うことで、保育士等の就労機会の拡大と市内園の保育士不足の解消に努めている。

また、28年度から市職員が県内の大学、短大、専門学校を訪問し、市内法人の募集状況をお知らせしたり、学生からの要望

を聞くなど、保育士確保への取り組みを始めている。

今年度は、なでしこワークの会場で保育士登録制度の周知を図ったり、常葉大学附属菊川高校で保育士を目指す生徒に対して高校生ふるさとセミナー事業・みらい学講座を実施して、保育士を養成するための支援を行っている。



高校生ふるさとセミナー事業・みらい学講座